



2022年11月30日

フォルクスワーゲン グループ ジャパン株式会社
アウディ ジャパン
プレスサイト <http://www.audi-press.jp/>

お客様問い合わせ 0120 - 598 - 106
アウディコミュニケーション センター

Audi RS 6 Avant performance および RS 7 Sportback performance : ダイナミックなパワーと表現力豊かなデザインを融合

- パワーアップ (30PS/50Nm) により、0~100km/h 加速 わずか 3.4 秒
- 最適化されたセルフロックング センターディファレンシャル、新しい 22 インチ軽量ホイール、ハイパフォーマンスタイヤにより、より正確なハンドリングを実現
- マット仕上げのエクステリアコンポーネントとブルーのインテリアアクセントが、performance モデルのエクスクルーシブなキャラクターを強調

(ドイツ本国発表資料) 2022年11月29日、インゴルシュタット：RS 6 および RS 7 史上最高のパワーと加速性能：新型 Audi RS 6 Avant performance および RS 7 Sportback performance は、エクステリアデザインがさらにシャープになり、これまで以上に感動的な走行体験を実現するための機能を追加しています。パワフルな 4.0 リッター V8 ツインターボ TFSI エンジンは、最高出力 463kW (630PS) の、最大トルク 850Nm を発生します (複合モードにおける燃料消費量：12.7~12.0ℓ/100km (WLTP)、複合モードにおける CO₂ 排出量：289~273g/km (WLTP))。RS 6 Avant performance および RS 7 Sportback performance は、ドイツにて 12 月 8 日より販売が開始となります。

アウディにおいて「performance」という名称が冠されたモデルは、パワーアップされていることを意味しています。例えば、RS 6 Avant performance (複合モードにおける燃料消費量：12.7~12.2ℓ/100km (WLTP)、複合モードにおける CO₂ 排出量：289~277g/km (WLTP)) および RS 7 Sportback performance (複合モードにおける燃料消費量：12.5~12.0ℓ/100km (WLTP)、複合モードにおける CO₂ 排出量：284~273g/km (WLTP)) に搭載される 4.0 リッター V8 ツインターボ TFSI エンジンは、ターボチャージャーが大型化され、ブースト圧が 2.4bar から 2.6bar に引き上げられたことにより、最高出力が 30PS、最大トルクが 50Nm 増加、最高出力が 441kW (600PS) から 463kW (630PS) に、最大トルクが 800Nm から 850Nm に強化されています。これらの performance モデル (複合モードにおける燃料消費量：12.7~12.0ℓ/100km (WLTP)、複合モードにおける CO₂ 排出量：289~273g/km (WLTP)) は、0~100km/h をベースとなる RS 6/RS 7 よりも 0.2 秒速い 3.4 秒で加速します。

レス イズ モアのコンセプトにより、エンジンルーム、インテリア、車両後部の断熱材を削減することで、8kg の軽量化を達成。RS 6 Avant performance および RS 7 Sportback performance は、エキサイティングなエンジンサウンドを奏で、ドライバーにスリリングな感動を与えます。空車重量は、RS 6 Avant performance が 2,090kg、RS 7 Sportback performance が 2,065kg です。

ドライビングダイナミクスを改善：新しいセルフロックング センターディファレンシャル
4.0 TFSI エンジンには、シフトタイミングをさらに短縮した 8 速ティプトロニックが標準で組み合わせられ、そのパワーは、quattro フルタイム 4 輪駆動システムを介して前後のホイールへと伝達されます。完全に機械的に作動するセンターディファレンシャルは、エンジンパワーを 40:60 の比率でフロントおよびリアアクスルに配分し、タイヤのスリップが発生すると、より多くの駆動トルクが自動的にグリップの高いアクスルに向けられてトラクションが向上します。この場合、最大 70% をフロントアクスルに、最大 85% を※**リアアクスル**に配分することが可能です。セルフロックング センターディファレンシャル

* 本資料に記載の装備、諸元データは、いずれもドイツで販売予定のもので、日本仕様とは異なります。

ルは、より軽量でコンパクトになり、ドライビングダイナミクスが改善されると同時に、ハンドリングの限界付近におけるアンダーステアの傾向が抑制され、より正確なコーナリング性能を実現しています。さらに改善により、セルフステアリング反応がより正確になり、あらゆる状況でより俊敏な走りを実現します。

※2023年3月9日修正

エクスクループで高性能：ハイパフォーマンスタイヤと22インチホイール

新型RS 6 Avant performance およびRS 7 Sportback performance は、10スポークスターデザインの21インチ鋳造アルミホイールと273/35タイヤを標準装備しています。さらにスポーティな外観を好むドライバーのために、標準の22インチ鋳造アルミホイールに加えて、22インチの軽量ホイールも用意されています。カラーは光沢仕上げのメタリックブラック、マットグレイ、マットブラック、マットネオジムゴールドが用意されています。モータースポーツからヒントを得た5-Yスポークデザインは、ブレーキの冷却性をさらに高めます。この軽量ホイールは、ハイテクな鍛造フライス加工で製造されています。この新しい軽量ホイールは、現行モデルに装着されるRS 6 Avant またはRS 7 Sportback の22インチアルミホイールよりも約5kg軽量です。これにより、合計20kgのバネ下重量が削減され、スロットルレスポンスが向上しています。

新しい軽量ホイールには、新しいコンチネンタル製Sport Contact 7 285/30ハイパフォーマンスタイヤが組み合わされ、軽量化に重要な役割を果たしています。このタイヤは、乾いた路面と濡れた路面の両方で優れたグリップを提供すると同時に、高速でコーナリングする際のアンダーステアを抑制し、あらゆる速度域でより正確なハンドリングを実現します。さらに、この新しいホイールを装着すると、100km/hからのフルブレーキで、制動距離が最大2メートル短くなります。

オーディオドライブセレクトダイナミックハンドリングシステムにより、ドライバーは車両の特性を変化させることができます。エフィシェンシー、コンフォート、オート、ダイナミックに加え、カスタマイズ可能な2つの専用モード（RS1 およびRS2）の合計6つのプロフィールを選択することが可能です。

さらに、このperformanceモデルでは、専用のドライビングモードが採用されています。例えば、コースティング機能はエフィシェンシーモードでのみ作動します。これにより、最高速度160km/hまでの走行中に、エンジン負荷に応じて内燃エンジンを休止させ、燃料を使用することなく惰性走行することが可能です。さらに、エンジンコントロールユニットのソフトウェアのチューニングにより、ドライブセレクトモード「ダイナミック」でSモード、またはドライビングモードSを選択している場合に、サスペンションがより引き締められ、より感動的な走りを提供します。トランスミッションコントロールユニットには最新のソフトウェアが導入され、シフトタイミングが短縮されるとともに、各ドライビングモードの違いがさらに明確になっています。

RS Dynamic Package を標準装備

RS performance およびRS 7 performance モデルには、RS Dynamic Package が標準装備されています。これには、最高速度設定280km/hへの引き上げ、ダイナミックオールホイールステアリング（RS専用ソフトウェアにより、フロントおよびリアアクスルのステアリング修正を積極的に行ってドライバーをサポート）、リアアクスルのquattroスポーツディファレンシャルが含まれます。

RS Dynamics Package plus もオプション設定されています。このパッケージでは、最高速度が305km/hにさらに引き上げられ、RSセラミックブレーキシステムが装備されます。ブレーキキャリパーはグレイ、レッド、ブルーから選択可能で、ディスク径はフロントが440mm、リヤが370mmです。RSセラミックブレーキシステムは、スチール製のディスクと比較して約34kg軽量で、バネ下重量の削減に貢献し

* 本資料に記載の装備、諸元データは、いずれもドイツで販売予定のもので、日本仕様とは異なります。

ています。

斬新なエクステリアカラーとオプティクスパッケージ

新型 RS 6 Avant performance および RS 7 Sportback performance には、合計 16 色のボディカラーが用意されています。今回初めて、メタリックおよびマット仕上げのアスカリブルー、マット仕上げのデューシルバーが設定されました。この performance モデルは、ドアミラー、フロントスポイラー、フロントサイドフラップ、サイドシルインサート、ルーフレール、サイドウィンドウおよびリヤディフューザートリムに、マットグレイ仕上げの RS エクステリアコンポーネントを標準装備しています。ルーフレールとサイドウィンドウトリムがブラック仕上げになる、マットカーボン/ブラックオプティクスパッケージもオプション設定されています。アウディのフォーリングスロゴとモデルネームエンブレムは、クロームまたはブラック仕上げから選択できます。

新色の追加と、新しいインテリアのアクセントと装備

インテリアでは、おなじみのグレイとレッドの RS デザインパッケージに加えて、ブルーが追加されました。アルカンターラブラックのステアリングホイールリムには、メルカートブルーのコントラストステッチが採用され、フロアマット、センターコンソール側面、セレクターレバーカフにもブルーのコントラストステッチが施されています。シートベルトは全面がオーシャンブルーで、カーボン模様の装飾インレイに加え、オプションでブルーのアクセントが配されます。セレクターレバーノブおよびセンターコンソール側面は、リサイクルされた PET 繊維を約 45% 含む Dinamica (ダイナミカ) マイクロファイバー製で、スポーツシートの張地には、ハニカムステッチとメルカートブルーのコントラストステッチが施された高品質な Valcona (バルコナ) レザーを使用しています。また、フロントドアに装備されたエントランス LED が、「RS performance」の文字を路面に投影されます。

RS デザインパッケージには、3 つのカラーバリエーションが用意され、オプションで Dinamica マイクロファイバー製の装飾インレイ、ドアアームレスト、センターアームレストを追加することが可能です。この装備パッケージを選択すると、シートセンターパネルにはグレイ、レッド、ブルーのインレイが採用され、パフォーレーテッドスポーツシートを通して、お客様が選択したカラーを見ることができます。また、シートバックには、同じカラーで RS ロゴがエンボス加工されます。

お客様は、新しい Audi Exclusive Customizer (アウディ エクスクルーシブ カスタマイザー) と呼ばれる視覚化ツールにより、何千もの組み合わせの中からお好みのカラーや装備を選択して、独自の仕様にパーソナライズすることができます。このツールでは、レザーやステッチのカラーだけでなく、幅広い独自の塗装仕上げを選択することが可能で、3D モデルを使用してカスタマイズプロセスを視覚化できます。

標準装備される 12.3 インチのアウディ バーチャルコックピット プラスのディスプレイには、マニュアルトランスミッションモードを選択すると、モータースポーツで採用している、グリーン/イエロー/レッドの順に点滅するシフトインジケータ等の新しい機能を搭載。最適なギアチェンジタイミングを知らせます。さらに、ローンチコントロール機能も搭載され、発進時に RS 6 Avant performance および RS 7 Sportback performance のポテンシャルを最大限に引き出すことが可能です。この機能は、理想的なスタートの瞬間を、新しいシグナルアイコンでドライバーに知らせます。

伝統のパフォーマンス：RS 6 Avant plus から最新モデルまで

C8 世代の RS 6 Avant performance および RS 7 Sportback performance は、アウディが長年にわたって培ってきた plus モデルと performance モデルのスポーツ路線を継承しています。そのすべては、C5 世代の RS 6 Avant plus から始まりました。quattro GmbH (現在の Audi Sport GmbH) は、このシリーズが 2004 年に生産終了になる直前に、パワーを強化した 999 台のリミテッドエディションを発売しました。最高出力は 30PS 引き上げられて 480PS になり、最高速度が 250km/h を超えた最初のアウディ

* 本資料に記載の装備、諸元データは、いずれもドイツで販売予定のもので、日本仕様とは異なります。

ィ市販モデルとなりました。RS 6 plus の最高速度は 280km/h に達し、最速のスポーツワゴンとして名を馳せました。エンジンコントロールユニットによる速度制限を解除すると、最高速度は 300km/h を超えました。

C6 世代の plus モデルは、500 台限定で 2008 年に登場しました。先代モデルとは異なり、パワーは強化されませんでした。それでも、このモデルに搭載された V10 エンジンは 580PS を発生しました。アウディはこの特別な Avant と Sedan の最高速度を 303km/h に制限しました。当時、この最高速度を超える唯一のモデルは Audi R8 のみでした。

C7 世代では、plus の名称が performance に変更されました。Audi RS 6 Avant および RS 7 Sportback performance は、2016 年にラインオフされ、その出力はベースモデルから 45PS 強化されて 605PS となりました。このモデルは、「ダイナミック」ドライビングモード選択時に、オーバーブースト機能を使用することにより、最大トルクを一時的に 750Nm に強化することができました。最高速度は、装備レベルに応じて 250km/h、280km/h、305km/h に設定されました。

※本リリースは、AUDI AG 配信資料の翻訳版です。

* 日本仕様の導入時期、価格は未定です。

* 内容は予告なく変更されることがあります。